

ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/吉田 史 (Ubuntu Japanese Team)
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.02」
(<http://ubuntu.asciimw.jp/>) 2009年11月30日発行

Karmic Koala Ubuntu 9.10

最新型Ubuntuの特徴は コレでつかめ!!

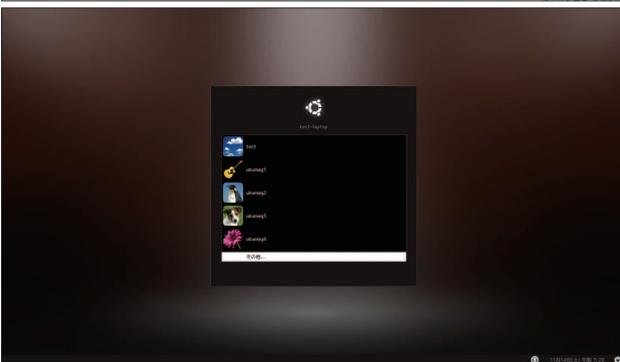
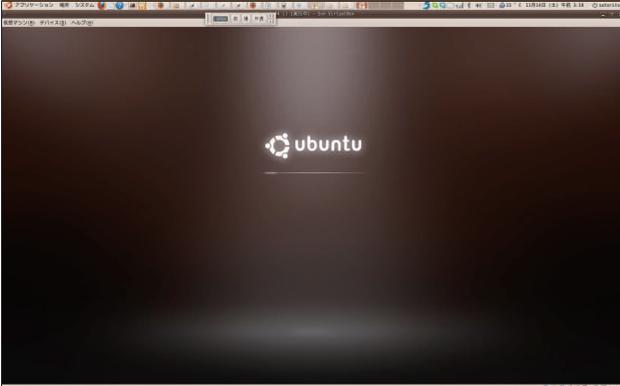
のすべて

●文/吉田 史
(Ubuntu Japanese Team)

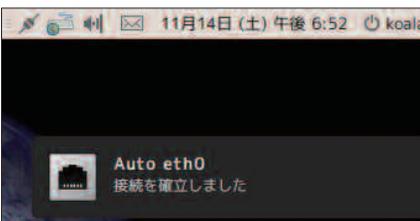
茶色よ、これまでありがとう!

All About Ubuntu 9.10

Ubuntuの最新版、Ubuntu 9.10「Karmic Koala」は、新しいデザインと使い勝手の強化が行われた、すっごい新バージョンだ。Windows 7に負けないパワーアップが行われた、最新の「霊的なコアラ」を見ていこう!



■新しいログイン画面。クリックして選択するだけでなく、ユーザー名をキーボード入力してもOKだ。



新しいデザイン!

■9.04で採用された「Notify OSD」もデザインが少し変わり、さらに常駐アイコン類も新しいものになっている。

「Humanity」テーマ

■Ubuntuの各種アイコンもボランティアが描いている。これも新しいものになり、見た目のカッコ良さだけでなく、「見てすぐにわかる」デザインになった。



銀と黒に彩られた、新しい姿を見よ!

「Ubuntu」のテーマカラーは「オレンジ色」ということは馴染みになっているだろう。だが、10月末にリリースされた最新版、Ubuntu 9.10ではそれは違う。起動すると黒ベースの背景に、銀色の「Ubuntu」の文字が浮かび上がる、独特の起動画面になったのだ。

ますますカッコよく!!
新デザインを
チェック

All About Ubuntu 9.10 Karmic Koala

9.04までのオレンジのロゴもそれなりだったが、9.10の新しいブートシーケンスは出色のデキだ。PCを起動してBIOS画面表示が終わると、すぐにUbuntuのロゴが黒背景に浮かび上がり、そのまま起動処理が行われてログイン画面が表示されるまでの流れはとてもスムーズかつ高速で、「いいもの」を触っている気分になさしてくれる。Ubuntu 9.10はWindows 7やMac OS X (Snow Leopard) のような他の最新OSに負けないデザイン性を身につけたと言えるだろう。高速なマシンで使えば起動にかかる時間は10秒以下と、デザインと相まって「起動のなめらかさ」ではLinuxの中でも随一の存在だ。

また、起動後のウィンドウの配色も一新されて、「オレンジ」から「焦げ茶色」ベースになった。

だから

デザイン性と「使いやすさ」を両立させる新デザインが導入されたおかげで、これまでのUbuntuに慣れた人にとっても、サイコーのOSのひとつ **になった!!**

デスクトップ関連のデザインにも「Humanity」という新しいアイコンテーマが導入され、デフォルトではこれが利用されるようになった。さらに、デスクトップにある各種ドキュメント、ダウンロードなどの特殊ディレクトリには、アイコンデザインが「エンブレム」として表示されるようになっていく。このデザインは見た目と視認性の双方を追求して作られたもので、かなりの力作だ。

ソフトウェアセンター (完成版)



■Ubuntu Magazine Vol1に掲載の未完成版とはちょっとデザインの変わったソフトウェアセンター。これが真の姿だ！

新しいパッケージ インストール方法が登場

Ubuntuのソフトのインストールは「パッケージ」を利用して行う。9・04までは「アプリケーションの追加と削除」と「Synaptic」のどちらかを利用して行ってきたが、「インストールしたアプリケーションが実際にメニューの

ソフトウェアセンターでソフトの導入がカンタンに!

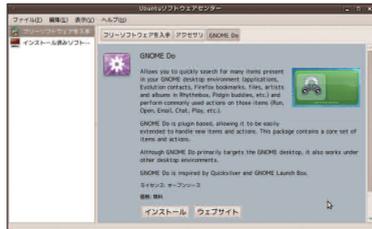
All About Ubuntu 9.10 Karmic Koara

インストール済みソフト



■こんな感じでインストールされているソフトを見ることもできる。

ソフトをインストール!



■ソフトウェア・センターでソフトをインストールの様子。ばち、っと「インストール」ボタンを押すだけでインストール開始!

どこに表示されるのが分からない「なんとなく眺めて、ソフトを試してみる」といった使い方は向きなかった。これを埋めるために新たに開発されたソフトが「Ubuntu Software Center」だ。ソフトウェアセンターは「メニューと同じように」アクセス・インターネット・オフィスなどといった分類でアプリケーションを配置し、クリックしていくことで新しいソフトをインストールできるように設計された、新しいソフトウェアだ。これを使うと、「あのアクセスリに格納されたソフトなんだっけ」なんて探し方でも目的のソフトを見つけ出すことができるのだ。もちろん「検索」

アンインストール



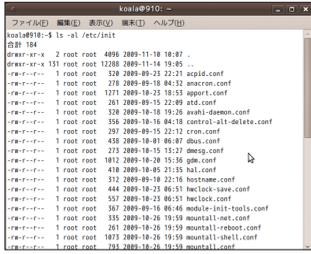
■ソフトウェア・センターからソフトのアンインストールも可能だ。超便利!

だから

ソフトをサクサク探して新規にインストール、気に入らなったらアンインストール、なんてことがカンタンにできるようになった!!

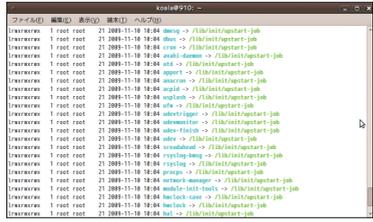
もできるようになっている。「GNOME Doをインストールしたい」なんて要求にもきっちり答えられる。さらに、左側ペインをクリックすることで「インストール済みソフトウェア」の一覧を表示させることもできる。もちろん既存のSynapticやコマンドラインツールである「dpkg」も残っている。無理に使わなくてもOKだ。ちなみにこのソフトウェアセンター、将来的な拡張が予定されていて、アップデート・マネージャやソフトウェア・ソース、Synapticなども含めた統合ユーティリティに進化する予定らしい。

起動設定ファイル



■「ls -al /etc/init.d」の姿。右の「init.d」以下の「サービス起動設定」がこれだ。

これはいったい……?



■Linuxの常識を超えた「ls -al /etc/init.d」の状態。シンボリックリンクからUpstartが呼ばれ、サービスの起動処理をするのだ!

電源入れればすぐに使える!

一つ前のリリースである9・04で高速なブートが実現されたが、コアラではさらに高速になっている。これは「Upstart」という起動処理プログラムの使い方を替えて、「効率良くブートする」ようにしたこと、起動処理における

いまだかつてないスピードで動くコアラが来た!

All About Ubuntu 9.10 Karmic Koara

upstart

Overview

Upstart is an event-based replacement for the `/sbin/init` daemon which handles starting of tasks and services during boot, stopping them during shutdown and supervising them while the system is running. It was originally developed for the `Ubuntu` distribution, but is intended to be suitable for deployment in all Linux distributions as a replacement for the venerable `System-V init`.

Feature Highlights

- Tasks and Services are started and stopped by events
- Events are generated as tasks and services are started and stopped
- Events may be received from any process on the system
- Services may be requested if they are unresponsive
- Supervision and requeuing of daemons which generate from their parent process
- Communication with the `init` daemon over `D-Bus`

Recent News

- 2 Aug 2009 Update 0.3.2 Release!
- 13 Jul 2009 Update 0.3.1 Release!
- 10 Jul 2009 Update 0.3.0 Release!
- 10 Jul 2009 Update 0.2.9 Release!
- 10 Jul 2009 Update 0.2.8 Release!

Planned Features

- Ubuntu 6.10 end later
- Ubuntu 9 and later

<http://upstart.ubuntu.com/>

だから

ネットブックでもサクサク起動。モバイルPCでも電源オフやシステム終了がスリープ気分できちゃった!!

■「upstart」のウェブページ。旧世代のものはFedoraでも採用されたので、「Linuxの新しい標準」の起動処理となっていくはずだ。

化が進んでいく予定だ!

るムダな待ち時間を削ることで実現されている。このUpstart、実は6・06で導入されたが、本来の機能を無効にしたまま調整が続けられてきていたものなのだ!そして、この新機能はまだチューニングが続けられている。10・04では「デル Inspiron Mini 10v」のSSD搭載モデルで10秒で起動することを目標に、限界まで高速

ディスクの
管理が
便利になった!

All About Ubuntu 9.10 Karmic Koara

HDDの操作は ディスクユーティリティで

9・10で追加されたソフトの中で、特に強力なのが「ディスクユーティリティ」だ。「システム」、「システム管理」、「ディスクユーティリティ」から起動できるようになっている。

これはディスクに関連する操作全般（フォーマットやパーティション構成の変更・削除・追加、動作状態の「S.M.A.R.T.」によるチ

●Ubuntuの新しい力！
とか言っているが実はGNOMEの新機能で、主な開発はRed Hat...
...というものだったりする。このあたりのカオスさがオープンソースソフトウェアの魅力だ。

ディスクユーティリティ



S.M.A.R.T.による監視



●S.M.A.R.T.はHDDに内蔵されたセンサーで故障予知をするものだ

SDカードもばっちり



●SDカードのファイルシステムのチェックも可能だ。

右クリックでフォーマット



●デスクトップ上に表示されたアイコンを右クリックして、「フォーマット」を選べばフォーマットのためのツールが起動する。

エック、ファイルシステムの健全性のチェックなどが行える、ディスク管理の統合ユーティリティだ。

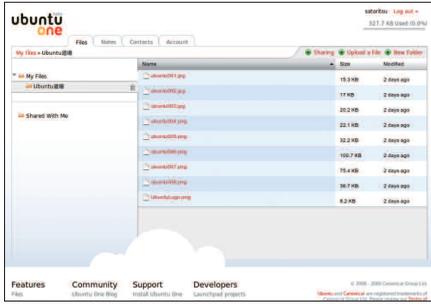
起動すると接続されているディスクすべてが一覧で表示されるようになっていて、HDDだけでなく、USBメモリやSDカードも管理の対象になるぞ。そして、ディスクそれぞれの動作状態をチェックしたり、パーティションを削除して別のパーティションを作ったり、ファイルシステムを変更してフォーマットしなおしたり、といった色々な操作が行えるのだ。「S.M.A.R.T.」による故障予測もできるので、HDDが壊れそうな時は警告もしてくれるのだ。

また、これまでのUbuntuではデスクトップにマウントされた外

だから

めんどうさいフォーマットやパーティションの作成がラクラクになったので、新しく買って来たUSBメモリやSDカード・外付けHDDをカンタンに使い始められるようになった!!

Ubuntu Oneのウェブインタフェース



●ブラウザから開いてファイルを取得したり移動することも可能だ。同期ツールはUbuntu用しかないが、IEやFirefoxからウェブインタフェースを開くことは可能だ。

ファイル・ブラウザで



●ファイル・ブラウザでUbuntu One用のディレクトリを開いている様子。ここにあるファイルは自動的に同期される上、さらに一部のソフトでは設定も自動的に同期してくれるのだ!

だから

インターネットにさえ接続できれば、自宅マシンと同期しているデータに出先からアクセスできるようになった!!

データの保存と共有を クラウド経由で

最近のPCの使い方は、ネットブックなどでモバイル環境を作っている人も多く、それを歩いて利用している人も多し。そんな人の強い味方になるのがクラウドサービスだ。クラウド経由でデータを同期したり、編集したりと、すでに色々な形で使いこなしている人も多くいる。Ubuntuでもそんな人に向けて、「Ubuntu One」というク

UbuntuOneで クラウド ストレージ!!

All About Ubuntu 9.10 Karmic Koara

クラウドストレージサービスが追加された。

Ubuntu Oneの基本は、「Dropboxと同じような、自動的に同期するオンラインストレージ」だ。2GBまで無料で利用することができ、必要なクライアントも9・10でインストール済みと、すぐに使い出せるようになっていて、興味があれば使ってみよう!

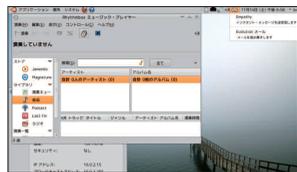
ただし、9・10リリース時点では不具合を抱えてのスタートとなっているので、重要なファイルは他のメディアにもバックアップを取るようになっておこう。頼り切るのはまだ危険だ。

Karmic Koala Ubuntu 9.10のすべて

新テーマ



kin



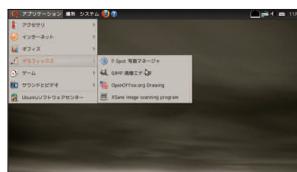
Turrigan



Impression



NightImpression



Hanso

9・10ではオフィシャルなデザインが変更されているが、さらに追加でいくつかのテーマが利用できるようになってきている。

実は、Ubuntuでは毎リリースごとに、「新しいデザイン」を公募している（日本からも応募できたりする）。デフォルトのテーマとしてはその中でもっとも「グッとくる」ものが採用されるのだが、投稿されたデザインの数々は、そのままポツにするにはもったいない品質のものだ。そこで、応募された各種テーマや壁紙を「community-themes」というパッケージとして提供している。これを導入することで、一風変わったUbuntuにすることができるのだ。壁紙

コアラには色んな顔があるぞ!

新デザインのテーマと壁紙も大盛り!

All About Ubuntu 9.10 Karmic Koala

新しい壁紙も!



◆デスクトップを右クリックして「背景の変更」で変更できるぞ。

も追加される。追加されるのはKin・Turrigan・Impression・NightImpression・Hansoの5つのテーマだ。これらはものによってはアイコンもセットになっており、標準のUbuntuからは大きく異なったデザインとなっている。設定の変更は、「システム」→「設定」→「外観の設定」か

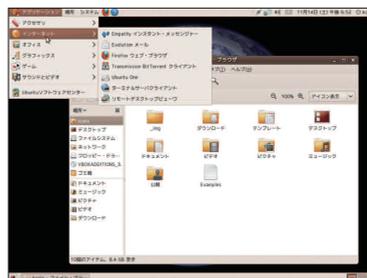
だから



オレンジ色に飽きた人も、古いデザインのまま使いたい人も、気分を変えて使いたい人も、人とは違うデスクトップにしたい人も満足できるよう

になった!!

新デザイン



◆この辺もしっかり新デザインになっているぞ。

ら行えるぞ。テーマとして導入するだけでなく、部分部分を組み合わせさせてユーザー独自のデザインにすることも可能となっている。

もちろん、これまでの「オレンジ色」に慣れた人のために、「Human-Clearlooks」という「以前のUbuntu」で使われていた、オレンジベースの配色になるテーマも残されている。オレンジが好き人は戻して使うといいだろう。

パッケージの整理 (旧名: 不要パッケージの管理)



◆不要かもしれないパッケージを見つけたり、もう要らなくなった設定ファイルの削除を提案したりといろんな機能のある便利なユーティリティだ。

Ubuntuを使っていく上では、「あるパッケージをインストールすることで、動作に必要なために、自動的にインストールされてしまいうパッケージ」の存在は避けられない。これを「依存関係によってインストールされたパッケージ」というのだが、もし「もともと必要だったパッケージ」が削除されてしまった場合、このパッケージの

不要なパッケージがすぐ見つかる!

パッケージの整理でメンテも楽々!

All About Ubuntu 9.10 Karmic Koala

Synaptic



◆これまで通りの、Synapticから不要なパッケージを探して削除する方法。いろいろ知らないとお上手く削除できなかったりする。

だから



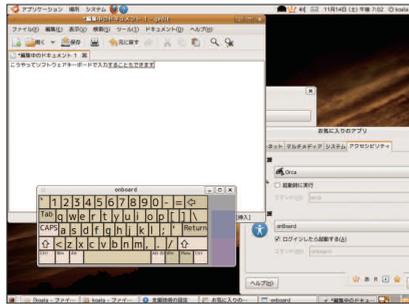
要らないパッケージを残したまま使う、なんて事態からはサヨナラ! これで古いパッケージのせいでバグったりしなくてすむようになった!!

存在意義はなくなってしまう。また、OSのアップグレードに伴って「もうサポートされないパッケージ」なんてものも存在する。

こういうものが溜まっていくとHDD容量を不要に圧迫する結果になるので、できれば削除した方がいい。これを自動的に実行してくれるのが「不要パッケージの管理」だ。これまではSynapticの「ローカルまたは廃止」状態にあるパッケージを指定して削除する必要があるものが、一気に行えるようになるのだ。

Karmic Koala Ubuntu 9.10のすべて

Onboard



■ボタンをポチポチクリックすることで文字が入力できるキーボード。[Ctrl] をクリックしてから [Space] をクリックして日本語入力を有効にすれば、日本語での入力もOKだ。

9・10では標準でインストールされるソフトもかなり様変わりし、標準ソフトの一部が変更されたり、追加になっている。

たとえば、インスタントメッセージャーである「Pidgin」は「Empathy」という別のソフトに置き換わっている。EmpathyはGNOMEの標準的なソフトで、タブをサポートしたチャットウィンド

新バージョンでは新しいアプリがお出迎え

色々なアプリがバージョンアップ!

All About **Ubuntu 9.10** Karmic Koala

Firefox 3.5



■高速動作するおなじみのブラウザ。9.10でついに3.5に更新。

また、Ubuntuのソフトウェア利用の基本は、「Ubuntu自体のバージョンがあらないと、新しいソフトウェアを利用することができない」(リリースされた時点のバージョンで固定されていて、あとから提供されるアップデートはバグフィックスやセキュリティアッ

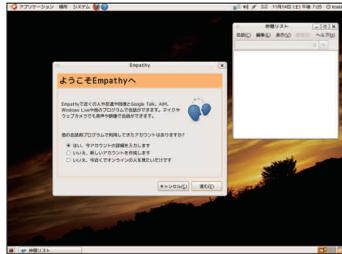
ド、音声/ビデオチャットのサポートといった、便利な機能を備えているぞ。ちなみにこの入れ替えは8・10の開発時から慎重に議論が重ねられ、9・10の時点でやっと採用されたものだ。Pidginも残されているので、必要であれば追加インストールすればOKだ。

追加された中の注目目は、Canonicalが新規に開発したソフトウェア「Onboard」だ。画面に表示されたキーボードをクリックすることで入力が行え、日本語も含めた通常の入力が可能、そしてログイン時からも利用可能というナイスなソフトだ。これはアクセシビリティ強化の一環として開発されたソフトなのだが、タッチパネルが採用されたマシンでは、当然ながら指でついで入力することも可能となっている。

ウ・音声/ビデオチャットのサポートといった、便利な機能を備えているぞ。ちなみにこの入れ替えは8・10の開発時から慎重に議論が重ねられ、9・10の時点でやっと採用されたものだ。Pidginも残されているので、必要であれば追加インストールすればOKだ。

追加された中の注目目は、Canonicalが新規に開発したソフトウェア「Onboard」だ。画面に表示されたキーボードをクリックすることで入力が行え、日本語も含めた通常の入力が可能、そしてログイン時からも利用可能というナイスなソフトだ。これはアクセシビリティ強化の一環として開発されたソフトなのだが、タッチパネルが採用されたマシンでは、当然ながら指でついで入力することも可能となっている。

Empathy



■Pidginに変わって採用されたチャットツール。作りが素直で結構便利。

だから

古いバージョンのソフトがまとめて更新されて、これまでのUbuntuよりもっと快適に、もっと便利に利用できるようになった!!

また、Ubuntuのソフトウェア利用の基本は、「Ubuntu自体のバージョンがあらないと、新しいソフトウェアを利用することができない」(リリースされた時点のバージョンで固定されていて、あとから提供されるアップデートはバグフィックスやセキュリティアッ

ド、音声/ビデオチャットのサポートといった、便利な機能を備えているぞ。ちなみにこの入れ替えは8・10の開発時から慎重に議論が重ねられ、9・10の時点でやっと採用されたものだ。Pidginも残されているので、必要であれば追加インストールすればOKだ。

追加された中の注目目は、Canonicalが新規に開発したソフトウェア「Onboard」だ。画面に表示されたキーボードをクリックすることで入力が行え、日本語も含めた通常の入力が可能、そしてログイン時からも利用可能というナイスなソフトだ。これはアクセシビリティ強化の一環として開発されたソフトなのだが、タッチパネルが採用されたマシンでは、当然ながら指でついで入力することも可能となっている。

Papercuts



<https://launchpad.net/hundredpapercuts>

だから

利用上気になる「小さなキズ」が修正されることで、より快適で「人にやさしい」デスクトップ環境を手に入れることができるようになった!!

Ubuntuには今のところ、微妙なアイコンのズレなどの細かい問題が大量に残っている。9・10の開発で行われたHundred Papercutsにより、その手の小さな問題が100個ほど修正されているのだ。

細かなバグを徹底的に直しました!!

All About **Ubuntu 9.10** Karmic Koala

だから.....

9.10の世界へようこそ!!

Ubuntuのリリース作業は「期日厳守」であることから、どうしてもチェックが甘い部分が出てくる。こうしたバグはリリース後1カ月程度をかけて更新され、ユーザーにとって使いやすく調整されるのだ。つまり、本誌が発売される「今」が食べ頃なのだ!

また、ここでは紹介していないが、9・10で導入された目に見えない機能強化にも注目だ。特に「AppArmor」が更新されて、色々なソフトにセキュリティ保護がかかるようになったのが大きい。システムを乗っ取られるおそれが大幅に軽減しているゾ。

9.10はリリース直後のバグも直って今が食べ頃!!

All About **Ubuntu 9.10** Karmic Koala